

教 育 研 究 業 績 書		
令和 5 年 3 月 31 日		
氏 名		ウエダ チカ 上田 智佳
研究分野	研究内容のキーワード	
教育学（音楽教育）	ピアノ指導法、音楽表現	
教育上の能力に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例 「幼児音楽基礎 A」「幼児音楽基礎 B」	平成 30 年 4 月 ～平成 31 年 1 月	本学オリジナルテキストを使用し、ピアノを演奏するうえで必要な音楽理論やリズム、初見演奏力向上の授業を行った。子どもの歌の弾き歌いレッスンを行っている。基本的には
「幼児教育基礎演習 A」「幼児教育基礎演習 B」		保育実習実施にあたり必要とされるマナーや筆記能力の向上のための授業を行った。また甲子園学院幼稚園見学の企画、調整を行った。
「保育実習指導 I」「保育実習指導 II」「教育実習指導」	平成 30 年 4 月 ～令和 2 年 1 月	指導案作成指導や模擬保育の実施を行った。模擬保育は全学生が先生役を経験し、実施後に必ず振り返り指導を行っている。
「音楽表現」	平成 30 年 4 月 ～7 月	幅広い音楽表現の実践的授業を展開した。音楽を活用したゲームや身体表現、打楽器の演奏方法、ピアノ連弾など実体験することにより、子どもの豊かな表現をサポートできる方法を伝えた。
「保育内容表現」	平成 30 年 4 月 ～7 月 平成 31 年 4 月 ～令和元年 7 月	保育内容 5 領域を結びつける授業として複数教員で授業を進めた。実際に体験を通して表現したり、テキストの内容をパワーポイントにまとめ発表を行ったり、表現を幅広く学べる工夫を行った。
「ピアノ基礎」「幼児音楽基礎 I」	平成 31 年 4 月 ～令和 2 年 1 月	ピアノ個人レッスンと前期は音楽理論の講義、後期は子どもの歌弾き歌レッスンを各 45 分ずつ行った。前期は 15 回の内 8 回講義を担当し、学生の理論理解のためテキストを細かく説明し毎回確認テストを行った。後期は

「子どもと音楽表現」	平成 31 年 4 月 ～7 月	弾き歌いレッスンを非常勤講師 1 名とペアで 4 コマ担当し、学生のレベルに合った伴奏を指導し、弾き歌いのレパートリーを増やせるよう導いた。
「ピアノ基礎」	令和 2 年 5 月 ～8 月 令和 3 年 4 月 ～7 月	表現を重視したピアノ演奏法を指導した。また音楽用語や作曲家、演奏曲の研究を行いパワーポイントでの発表会を実施した。
「幼児音楽基礎Ⅱ」		遠隔では複数教員が分担して『幼児音楽基礎・導入編』テキストの解説授業を行った。対面では、個人レッスンと集団授業を実施し、主に集団授業で音楽理論を担当した。
「子どもと音楽表現」		遠隔、対面それぞれ複数教員が分担してピアノレッスンを実施した。教則本に加え教育実習に向けて季節の子どもの歌のレッスンも行った。実習先や採用試験課題曲についても対策レッスンを行った。
「保育実習指導Ⅰ」 「保育実習指導Ⅱ」	令和 2 年 5 月 ～8 月	遠隔では表現に必要な音楽用語や音楽にまつわる子どもの表現について授業を行った。対面授業では小打楽器の扱い方や律動の援助法、指揮法や音楽表現についての PP 発表会などを実施した。
「保育実習指導Ⅱ」	令和 2 年 9 月 ～令和 3 年 1 月	5 月実施分は遠隔にて、指導案、手作り教材作成や保育用語・漢字学習など自習を中心にそのサポートを行った。対面授業に入ってから、具体的な指導案作成の指導や模擬保育を実施した。
「幼児音楽基礎Ⅰ」	令和 2 年 9 月 ～令和 3 年 1 月	カリキュラム変更に伴いⅠ回生開講となり、2 月実施の施設実習および次年度の保育実習に向けて、日誌や指導案の書き方や模擬保育の充実を図った。
「ピアノ基礎」「幼児音楽基礎Ⅰ」 「幼児音楽基礎Ⅱ」	令和 3 年 9 月 ～令和 4 年 1 月	ピアノ個人レッスンを行った。個人レッスン内で必要な音楽理論の授業も行い、演奏技術の指導のみならず理論や弾き歌いの奏法など幅広くレッスンした。
「ピアノ基礎」「幼児音楽基礎Ⅰ」 「幼児音楽基礎Ⅱ」	令和 4 年 4 月 ～令和 5 年 1 月	読譜の基礎および演奏技術の指導を個人レッスンで行った。教則本で基本的な知識や技術をレッスンし、保育現場に必要な「子どもの歌」のレッスンを重視した。

「卒業研究」	平成 28 年度 平成 29 年度 平成 30 年度 令和 2 年度 令和 4 年度	卒業研究発表会に向けての指導を行う。 ピアノソロ「リスト：愛の夢第 3 番」「ショパン：幻想即興曲」「ショパン：エチュード革命」 ピアノソロ「ショパン：華麗なる大円舞曲」 ピアノソロ「モーツァルト：きらきら星変奏曲」 ピアノ 6 手連弾「シューベルト：軍隊行進曲」 ピアノソロ「ブラームス：間奏曲 Op.118-2」 「ラフマニノフ：プレリュード Op.3-2 鐘」 ピアノ連弾「ブラームス：ハンガリー舞曲第 5 番」
2. 作成した教科書、教材 「幼児音楽基礎 A」に使用するための教材「幼児音楽基礎・導入編～読譜力を養うために～」を発行 「幼児音楽基礎 A」に使用するための教材「幼児音楽基礎・導入編～読譜力を養うために～」改訂版を発行	平成 26 年 3 月 平成 28 年 3 月	今まで楽典の教材を手作りし配布していたが、それらに修正を加えて、授業用教材として出版した。保育者養成にピアノのレッスンは欠かせない。近年未経験者が増加しピアノの練習が負担となっている。またピアノの上達には練習に加えて理論の理解が必要と教員は考えている。音楽表現の授業に使用するための教材、『幼児音楽基礎・導入編～読譜力を養うために～』を発行し、幼児音楽基礎 A・B の授業に使用している。 平成 26 年に発行したテキストを 2 年間実際に幼児音楽基礎 A・B の授業で使用し、訂正や加筆の必要箇所があったため改訂版を発行した。授業内で使用し、理解できているかの確認を行っている。
3. 教育上の能力に関する大学等の評価 授業評価アンケート	平成 30 年度～	担当している科目において、おおむね「4」以上の評価を受けている。
4. 実務の経験を有する者についての特記事項	平成 24 年 11 月 9 日 平成 25 年 3 月 20 日	兵庫県立家島高等学校芸術鑑賞会 家島高校の芸術鑑賞会にて演奏した。高校生に加え中学生も鑑賞しており、生徒に親しみやすいプログラムを企画した。ソプラノやテノール歌手のソロ・デュエット、男性コーラスの伴奏をした。 西宮市レクリエーション活動協会 特別研修会講師西宮市レクリエーション協会平成 24 年度後期特別研修会にて、ミュージックバル&トーンチャイムを使った音楽レクリエーション実技の講習を行う。
5. その他		

甲子園学院高校との連携講座	令和元年 5 月 ～令和4年2月	甲子園学院高校5年一貫幼教コースの授業内容や担当者の分担などマネジメントを行った。音楽関連の授業を担当し、子どもと音楽の関りや発達に応じた援助法を授業した。総合コースにおいて、幼児教育保育におけるコミュニケーションの体験授業や短大案内を担当した。
高大連携講座	平成 30 年 9 月	兵庫県立尼崎高校にて、就職についての講義と音楽表現を中心とした授業を行った。ミュージックベルの指導をし、生徒全員が発表会を体験する授業とした。
	平成 30 年～ 令和 4 年	大阪府立茨田高等学校「コミュニケーション総合」授業を担当した。言葉のみでなく、幅広いコミュニケーション法を体験してクラスメイトとの交流を図る授業展開を行った。
	令和 4 年	兵庫県立西宮甲山高等学校にて、手遊びを中心とした講義と実技の授業を行った。
高校内ガイダンス	平成 30 年	大阪府立芥川高等学校にて、ミュージックベルの基本的な使い方と体験の授業を行った。高校内ガイダンスとして兵庫県立芦屋高等学校で模擬授業を行った。幼児教育における免許取得方法や種類を説明し、体験的授業として手遊びやゲームを実施し、子どもの発達に応じた遊びがあることや、そこから保育者のねらいや年間の見通しがあることなどを講義した。
	平成 30 年 3 月	「入学前教育」 平成 30 年 4 月入学予定者（幼児教育保育学科）対象にピアノレッスンをを行った。3 月上旬実施のプレガイダンス時にピアノ初心者および初級者と判断した者と希望者に対し 3 月下旬に 2 回レッスンを行い、1 回生前期到達目標に少しでも近づくよう練習方法を伝えた。
職務上の実績に関する事項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許	平成 9 年 3 月 31 日	中学校教諭(音楽)1 種免許 平八中一第一九四七号 取得 (免許更新講習未) 高等学校教諭(音楽)1 種免許 平八高一第二二八五号 取得 (免許更新講習未)

2. 特許等				
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		平成 25 年度～ 現在に至る	「高大連携講座企画」 兵庫県立尼崎高等学校、兵庫県立伊丹西高等学校の高大連携講座の内容や日程調整など企画を担当している。	
		平成 26 年度～ 29 年度 令和 4 年度	甲子園学院高等学校連携講座の日時・内容・担当者の調整、企画を担当した。年間計画に加え、後期には入学予定者対象の入学前講座も実施のため、全体を見通した調整を行っていた。特に平成 28 年度からは甲子園学院高等学校5年一貫幼教コースが立ち上がり短大教員による授業コマ数が増え、高校教員と協議を重ね内容を精査し担当者の配置を考えた。	
		平成 28 年度・ 29 年度	「Ⅰ回生学年主任」	
		平成 30 年度 令和元年度	「Ⅰ・Ⅱ回生学年主任」	
		平成 30 年度	「保育士養成課程等の見直し」担当者としてカリキュラムの編成や教授内容等書類作成を行った。	
		令和元年度～ 平成 26 年～	「学生部長」 瀬川バレエスタジオ「タン・リエ」 レッスンピアノリスト	
4. その他				
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文 等の名称	単著・共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要

(著書)				
(学術論文) 1 保育者養成における実習での自己評価と課題	共	平成 23 年 3 月 31 日	全国保育士養成協議会「保育士養成研究」第 29 号 (59－68)	保育者養成校の学生は、実習において子どもの姿を予想することが難しく、計画通りの保育をスムーズに行うことに固執し、子どもの興味や意欲を引き出すという視点を持つまでに至っていないことも多い。本研究では、実習において本学の学生が行った、読み聞かせ、手遊び、ピアノを使った保育を取り上げ、実習指導案の学生の自己評価と実習園の評価の分析を行い、学生の省察が、次回の部分実習でどのように活かされているかの分析を行った。
2 保育者養成校におけるピアノ指導の研究―学生のつまずきに注目して―	単	平成 27 年 3 月	兵庫教育大学大学院修士論文	保育者養成校では年々ピアノの未経験者が増加している。また、練習の必要性を感じていながらも練習方法が分からず、前に進めない学生も多数存在する。そこで、保育者養成校（短大）での授業の実態を調査、さらに学生のつまずきを調査しまとめた。そして、学生が保育現場で戸惑うことなくピアノ演奏に取り組める課題を作成、実践、考察を行った。
3 学生の運動経験と健康や事故防止に関	共	令和 2 年 3 月	甲子園短期大学紀要第 39 号	短期大学生の運動経験値をアンケート調査行い、そこからどの程度危険や事故防止に関し

する認知度との関連				て認識があるかを調査した。授業での学びの効果は一定あるものの、経験値からのデータを読み取ることは難しかった。今後の課題も踏まえた報告を行った。
4 保育士の乳児に対する言葉がけにおける音声的特徴－学生の意識調査を通して－	共	令和3年3月	甲子園短期大学紀要第40号	日常の保育場面において乳児への言葉がけにふさわしい声量や速度などの音声的特徴について、学生がどのように捉えているかアンケート調査を行った。そして保育士の実験や先行研究と学生の捉え方の違いを見出し、今後の授業展開の課題とした。
5 学習成果の可視化に向けたアセスメントプランに基づく学生調査の策定	共	令和4年3月	甲子園短期大学紀要第41号(23-36)	「学習成果の可視化に向けたアセスメントプラン」に基づき、学生の入学から卒業までの間接評価の策定を行った。過去に実施していた学生アンケートを見直し学生調査の内容を検討、実施した。令和4年5月と8月実施の結果から現状把握と教育改革の可能性について検討を行った。 近澤優子・上田智佳・森井裕史・永藤清子
6 保育者養成校における手あそびでのICT活用による振り返りの実践	共		(47-53)	子どもたちの前で行っている身近な手あそびであるが、自分がしている場面は見るができない。そこで録画して、それを見ることによって自己評価を行い、課題を見出していく調査を行った。学生は表情や声、背景などさまざまなことに気づいていた。また、養成校としても指導の内容が明確となった。 上田智佳・近澤優子・木村雅代

(その他)				
1 兵庫県立 家島高等学校 芸術鑑賞会		平成 24 年 11 月 9 日	真浦区民ホール	家島高校の芸術鑑賞会 ソプラノやテノール歌手のソ ロ・デュエット、男性コーラス の伴奏
2 クリスマス コンサート		平成 24 年 12 月 9 日	自宅	地元ボランティアグループ「さ わやか会」主催で地域交流のた めの演奏会を開催 ショパンのノクターンやモー ツァルトのトルコ行進曲など
3 夢色コンサ ート		平成 25 年 11 月 24 日	太子町あすかホール	ブラームス：2 台のピアノ「ヘ ンデルの主題による変奏曲」
4 瀬川哲司ト ーク&パフォ ーマンス		平成 27 年 3 月 22 日	姫路キャスパホール	バレエダンサー瀬川哲司氏の 講演会 幼児対象のワークショップ伴 奏ピアノスト
5 歌のフェス ティバル		平成 30 年 7 月 16 日	姫路キャスパホール	ソプラノ歌手、テノール歌手の ソロ演奏やコーラスの伴奏
6 リトルコン サート		平成 31 年 3 月 28 日	姫路キャスパホール	ピアノ発表会における企画、指 導 講師演奏「ドヴォルザーク：ス ラブ舞曲」
7 ムゼッタの リサイタル		平成 31 年 4 月 21 日	南風会サロン	ソプラノ歌手竹本和美の古希 記念コンサート 声楽曲の伴奏とピアノソロ
8 歌のフェス ティバル		令和元年 7 月 15 日	姫路キャスパホール	ソプラノ歌手のソロやコーラ スの伴奏
9 リトルコン サート		令和 3 年 3 月 30 日	姫路キャスパホール	ピアノ発表会の企画、運営、指 導
10 瀬川バレエ スタジオタン リエ第 2 回発 表会		令和 3 年 4 月 4 日	姫路市文化センター	バレエ発表会にてオーケスト ラボックスでピアノ演奏
11 歌のフェス ティバル		令和 3 年 8 月 5 日	アクリエひめじ	ソプラノ歌手のソロ、コーラス の伴奏およびピアノソロ演奏
12 サークル湖		令和 3 年 9 月	布引ハーブ園森のホ	ピアノソロ「ブラームス：間奏

		4 日	ール	曲 Op.118-2」「シューマン・リスト：献呈」
13 歌のフェスティバル		令和4年7月18日	姫路キャスパホール	ソプラノ歌手のソロやコーラスの伴奏
14 サークル湖		令和4年9月3日	布引ハーブ園森のホール	ピアノソロ「リスト：超絶技巧練習曲第11番タベの調べ」
15Piano Concert vol. 1		令和4年12月18日	カクチーナケイカント	ピアノ連弾「ブラームス：ハンガリー舞曲第4・5番」ほか
16 ピアノ発表会～ア・クウ・プティ～		令和5年3月5日	姫路市民プラザアートホール	ピアノ発表会の企画・指導